

(2) 海草の現存量及び生育密度

定線（図1）付近の海藻の現存量を表-2に示す。20 cm × 20 cm の方形区内の海藻を、地下部を残さないようにスコップで採集し、2.5 mm のふるいで砂を落として持ち帰り、水洗後地上部と地下部を分け、70°Cで24時間乾燥し、乾重量を測定した。表の値は3回の採集の平均値である。

5種が採集され、すべて周年みられたが、現存量は夏季に増加し、冬季に減少した。特に地上部の変動が大きかった。5月の調査でリュウキュウスガモが、また2月の調査でマツバウミジクサがみられないのは、採集した場所になかったということで、付近には存在していた。このほか同地域には、ポウバアマモとウミヒルモがみられるが、ポウバアマモは分布が限られており、ウミヒルモは量が少ないため、データに表われていない。

表-3は、海草の生育密度を表わしたものであるが、ここでも夏季に増加する傾向がみられた。

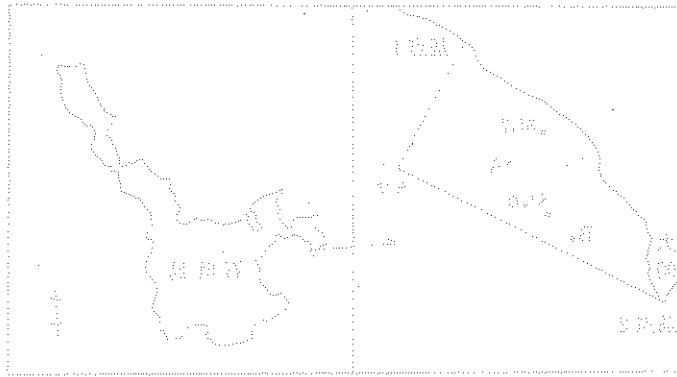


図1 調査地点の位置

表-2 調査地点の海藻の現存量

表-2 調査地点の海藻の現存量

単位：g/m²

調査地点	調査時期	地上部	地下部	合計
1	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
2	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
3	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
4	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
5	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
6	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
7	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
8	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
9	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0
10	2月	0.0	0.0	0.0
	5月	0.0	0.0	0.0

表-1 名蔵湾保護水面の海藻

種名	1979. 5. 15	1979. 9. 20	1979. 11. 30	1980. 2. 16
藍藻網				
1. クダモの一種(A)	○	○	○	○
2. クダモの一種(B)			○	
3. タバクダモ		○		
4. フォルミディウムの一種(A)		○		
5. フォルミディウムの一種(B)		○		
6. スキトネマの一種		○		
7. ヒゲモの一種	○			
緑藻網				
1. ヒトエグサの一種				○
2. アオノリの一種	○		○	○
3. カビシオグサ				○
4. シオグサの一種(A)		○		
5. シオグサの一種(B)		○		
6. ウキオリソウ		○	○	○
7. タノモグサ	○			○
8. アオモグサ	○	○	○	○
9. オオバロニア	○	○	○	○
10. タマバロニア	○		○	
11. キッコウグサ	○	○	○	○
12. ムクキッコウグサ	○	○		
13. フデノホ	○	○	○	○
14. ミズタマ	○	○	○	○
15. ナガミズタマ	○	○	○	○
16. カサノリ	○		○	○
17. ホシガタカサノリ	○	○	○	○
18. ウスユキガサ	○	○	○	○
19. ワタハネモ			○	
20. ヨレヅタ	○	○	○	○
21. ビャクシンヅタ	○	○	○	○
22. クビレヅタ				○
23. ヒメイワヅタ		○	○	○
24. ヒメイチョウ	○	○	○	○
25. クサビガタハウチワ	○	○	○	
26. サボテングサ	○	○	○	○
27. ヒロハサボテングサ	○	○	○	○
28. サボテングサの一種	○			
29. ヤセガタモツレミレ	○	○	○	○
30. コブシミノル?				○
褐藻網				
1. タワラガタシオミドロ				○
2. グンセンクオガシラ		○		
3. イトアミジ	○			

種名	1979. 5. 15	1979. 9. 20	1979. 11. 30	1980. 2. 16
4. カヅノアミジ ?	○	○	○	○
5. ウスユキウチワ	○	○	○	○
6. ネバリモ			○	○
7. オキナワモズク	○			○
8. フクロノリ	○			○
9. カゴメノリ	○			○
10. ラッパモク	○	○		
11. ホンダワラの種類	○		○	○
紅藻綱				
1. アマノリの種類				○
2. ハイユナハダ	○			
3. コナハダの種類(A)	○		○	○
4. コナハダの種類(B)			○	○
5. ソデガラミ	○	○	○	○
6. ビロードガラガラ	○	○	○	○
7. ハイテングサ		○		
8. シマテングサ			○	
9. ホソバナミノハナ	○			○
10. モサヅキの種類	○			
11. イバラノリ	○	○	○	○
12. ムラサキコケイバラ		○	○	
13. インダンツウ ?	○			
14. カタオゴノリ	○			○
15. タイワンオゴノリ		○		
16. カイメインソウ	○	○		○
17. ワツナギソウ			○	○
18. ヨツノサデの種類	○		○	○
19. ランゲリア	○		○	○
20. ウブゲグサ	○		○	○
21. ハイイギス	○			
22. イギスの種類	○			○
23. トゲイギス	○	○	○	○
24. ヒメヅタ		○	○	
25. ヒメコゲの種類	○	○	○	
26. イトグサの仲間	○		○	○
27. イトクズグサ	○			○
28. イトクズグサの種類	○	○		
29. マクリ	○	○	○	○
30. ダジアの種類	○		○	
31. クロソツ ?	○			
32. ソゾの種類(A)	○	○	○	○
33. ソゾの種類(B)	○			○
34. ソゾの種類(C)	○			○
35. トゲノリ	○	○	○	○
36. ジャバラノリ	○			

表-2 名蔵湾保護水面の海草の現存量 (単位: g 乾重/m²)

種 名		1979. 5. 15	1979. 9. 20	1979. 11. 30	1980. 2. 16
ベニアマモ	総重量	103.3	197.0	71.0	59.0
	地上部	59.3	92.0	36.5	30.0
	地下部	44.0	105.0	34.5	29.0
リュウキュウアマモ	総重量	145.0	99.1	218.8	86.8
	地上部	56.0	31.8	82.3	20.3
	地下部	89.0	67.3	136.5	66.5
ウミジグサ	総重量	48.5	85.3	96.5	98.0
	地上部	15.5	14.8	20.0	11.0
	地下部	33.0	70.5	76.5	87.0
マツバウミジグサ	総重量	1.8	3.3	4.8	—
	地上部	1.0	0.8	1.0	—
	地下部	0.8	2.5	3.8	—
リュウキュウスガモ	総重量	—	173.1	124.1	127.6
	地上部	—	51.8	46.8	25.3
	地下部	—	121.3	77.3	102.3
総 計	総重量	298.6	557.8	515.2	371.4
	地上部	131.8	191.2	186.6	86.6
	地下部	166.8	366.6	328.6	284.8

表-3 名蔵湾保護水面の海藻の生息密度 (単位: 本/m²)

種 名	1979. 5. 15	1979. 9. 20	1979. 11. 30	1980. 2. 16
ベニアマモ	858	1,275	542	450
リュウキュウアマモ	450	300	467	267
ウミジグサ	683	925	808	1,242
マツバウミジグサ	117	133	117	—
リュウキュウスガモ	—	475	308	225
総 計	2,108	3,108	2,242	2,184